

リスクアセスメント報告書 (事例1-1)

対象作業名 : スイングヤード集材作業 実施者氏名 : ○○さん、△△さん、□□さん、◎◎さん

報告書作成日 : 平成○○年○○月○○日

No.	危険要因の洗い出し					リスク見積り(現状)		リスク評価(現状)	リスク低減対策	対策後のリスク見積り(予測)		対策後のリスク評価(予測)	改善に当たり考慮すべき事項	優先順位	
	作業名	危険要因の内容	災害に至るプロセス			可能性	重大性			リスクレベル	可能性				重大性
			～するとき	～したので	～(事故の型)になる										
1	上げ荷集材	過大な張力	材を引き寄せるとき	根株に引っかかり	ベースマシンが転落する	△	×	4	①荷かけ者が引っかかりそうになる前に合図して処理する	○	○	1	リモコンで動かしているときは木を見ていて傾いていることに気付かないことがあるので注意する	3	
									②動かない時は直ぐに止めて処理する	○	○	1		4	
									③ベースマシンが横向きになる場合は滑車をとって正面向きにする	○	○	1		2	
									④①ベースマシンに控索をとる②ブレードを接地させる	○	○	1		1	
									⑤①上から順にとる②向かい柱を高くして木口を浮きやすくする③伐根は出来るだけ低くする	○	△	2		6	
									⑥元でなくウラに掛けて引く	○	△	2		伐採方法、伐倒方向の検討が必要	5
									⑦ハイリード方式をランニングスカイライン方式にかえる	○	△	2		7	
									⑧傾斜センサーを付けている機械にする	○	△	2		ゆっくりと傾くときは反応が遅く注意が必要	8
	集材木	急傾斜地の荷下ろし場で材を外すとき	材が滑って落ちていき	荷かけの作業者に当たる	△	×	4	①木をグラブで横に向けて落ちないようにしてから外す	○	○	1		1		
								②グラブで抑えてワイヤーを外す	△	△	3		4		
								③搬器が送り返されるまで下に行かない	○	○	1		3		
								④間伐の時は斜めに引き出す	○	○	1		滑車によりベースマシンを安全な向きにする	2	
	タンコロ、石	材を引き寄せるとき	不安定なタンコロ、石が動き出し	荷かけの作業者に当たる	△	△	3	①材が動いている間は安全な場所に退避しておく	○	△	2	タンコロは方向が変わるので注意する	2		
								②動きそうなものは事前に処置しておく	○	△	2	1			
2	下げ荷集材	集材木	材を引き寄せるとき	材が滑ってきて	ベースマシンに当たる	△	×	4	①滑車をとって正面に来ないように向きを変える	○	○	1	松の木は特に滑りやすいので注意をする	1	
									②運転席にガードを付ける	△	△	3	3		
									③ホールバックラインで滑り出しを抑えながら引き出す	△	△	3	2		
									④上から順に引き出す	○	△	2	よく見て順番を間違えないようにする	4	
	石	材を引き寄せるとき	石が動き出し	ベースマシンに当たる	△	△	3	①石に当たらないように滑車で木材の引寄せ方向を変えて出す	○	○	1	特に危険なときは石の周りに木を残しておく	1		
								②事前に落ちないようにつなぎ止めるなどの処理してから作業する	○	○	1	2			

リスク低減対策は、検討の順序に従って考える
 ①危険作業を廃止。作業のやり方・機械・道具等を変更
 ②安全装置、保護具等の対策
 ③教育等による人材対策

対策後のリスクレベルを確保する方法を具体的に示す
 ①対策後に発生する別の新しいリスクに対応する事項
 ②残留リスクが増大しないように考慮すべき事項

リスクの評価基準

災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
××	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)